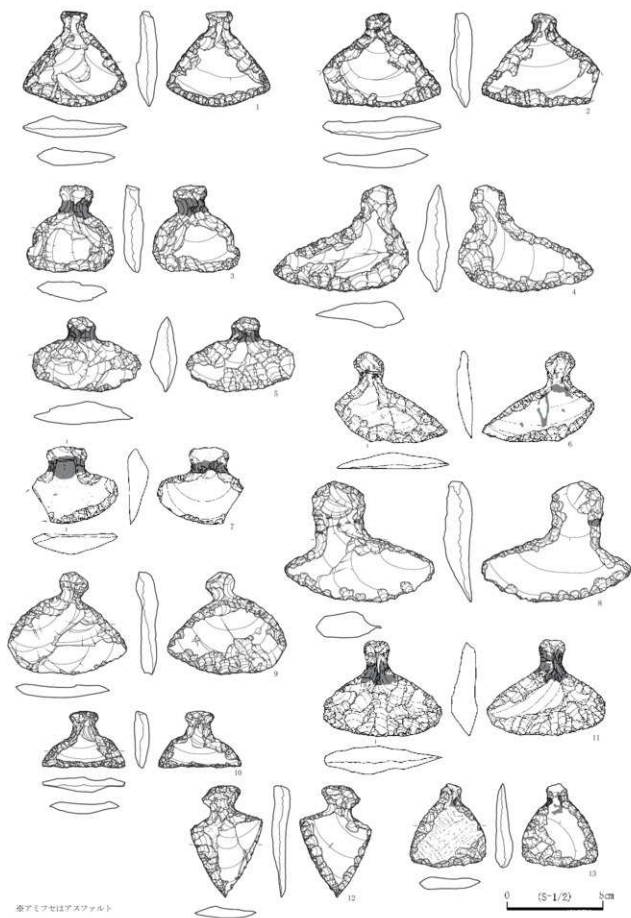
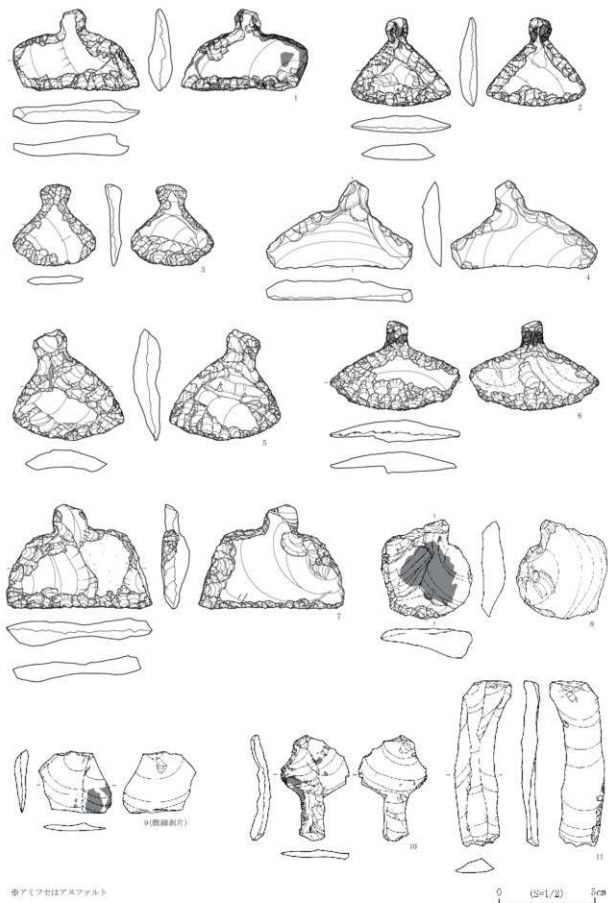


遺物図141 石器(23) 石匙-11

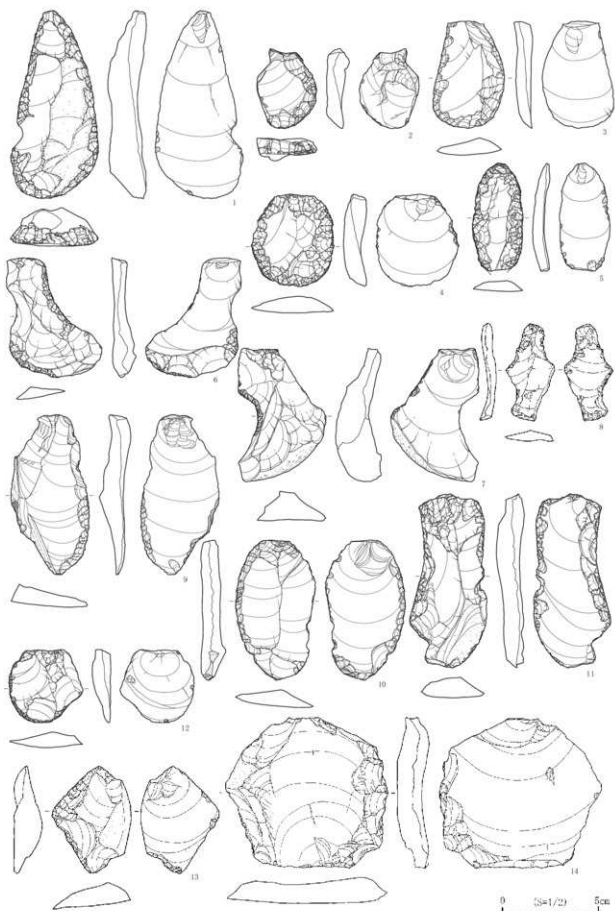


奈良ミフセはアスファルト

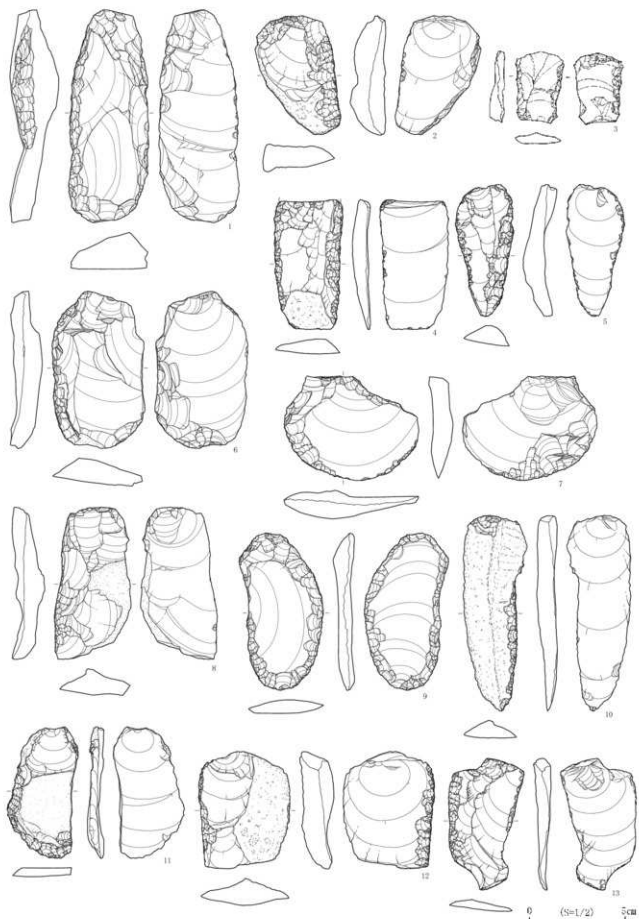
遺物図142 石器(24) 石匙-12



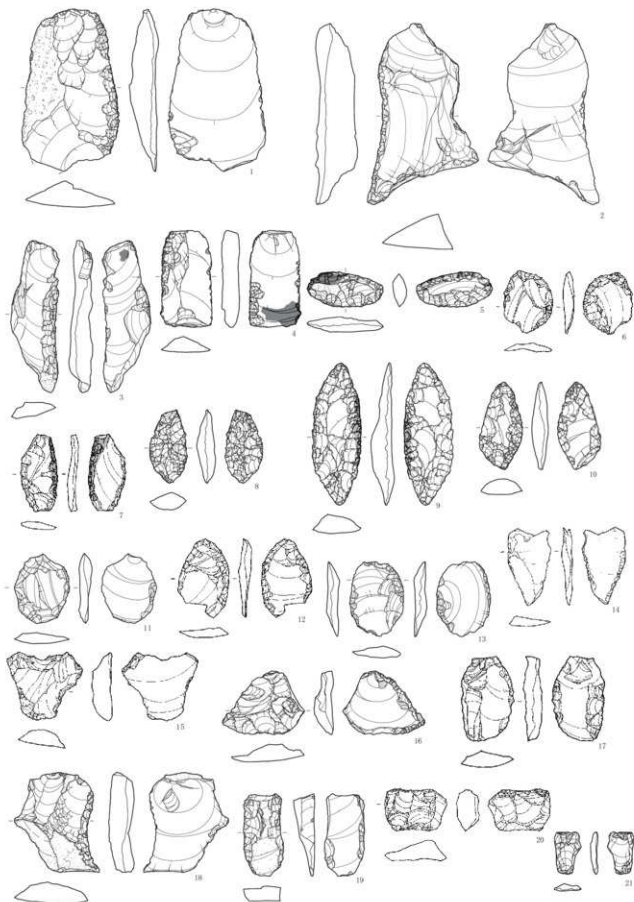
遺物図143 石器(25) 石匙-13・微細剥片・削器-1



遺物図144 石器(26) 挿器-1・削器-2

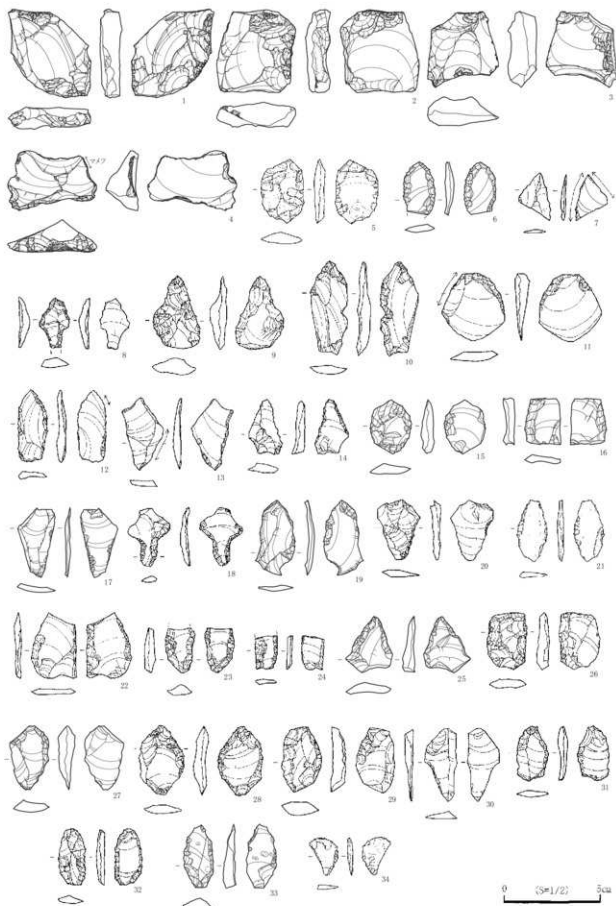


遺物図145 石器(27) 削器-3



※濃いアミフセはアスファルト、♀は光沢範囲

遺物図146 石器(28) 削器-4・両極-1

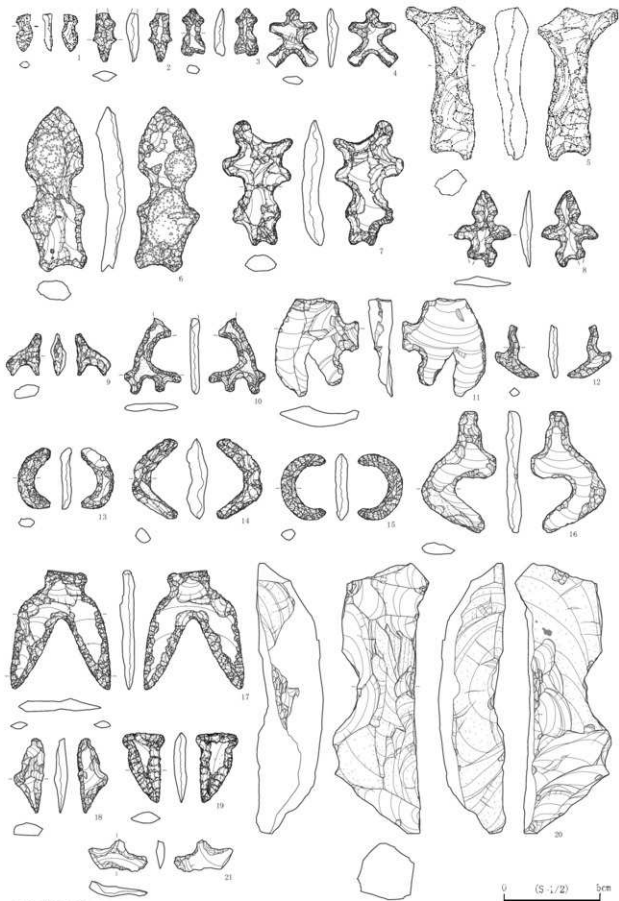


遺物図147 石器(29) 両極-2・二次加工-1



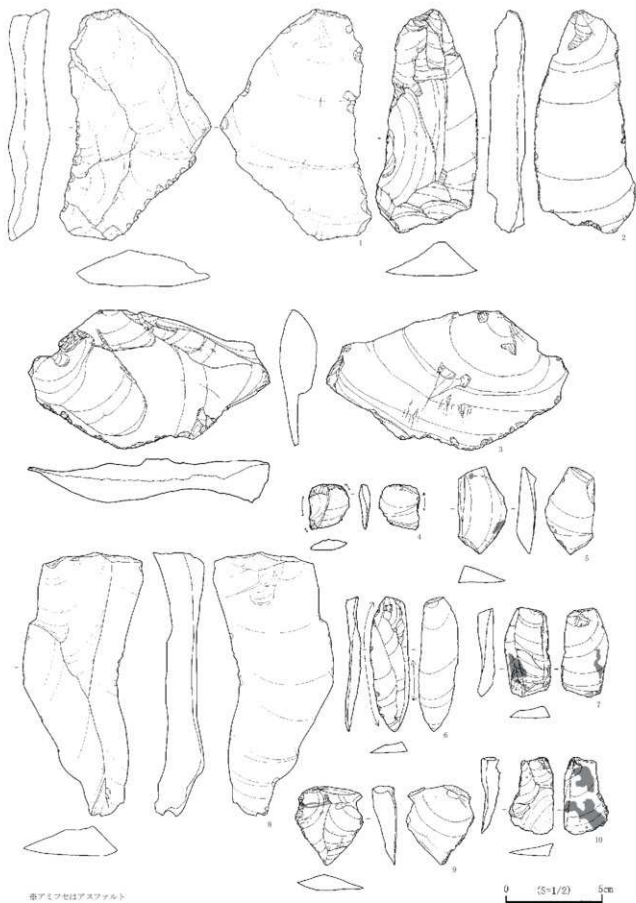
各遺イアミフセはアスファルト
5は光沢範囲

遺物図148 石器(30) 二次加工-2

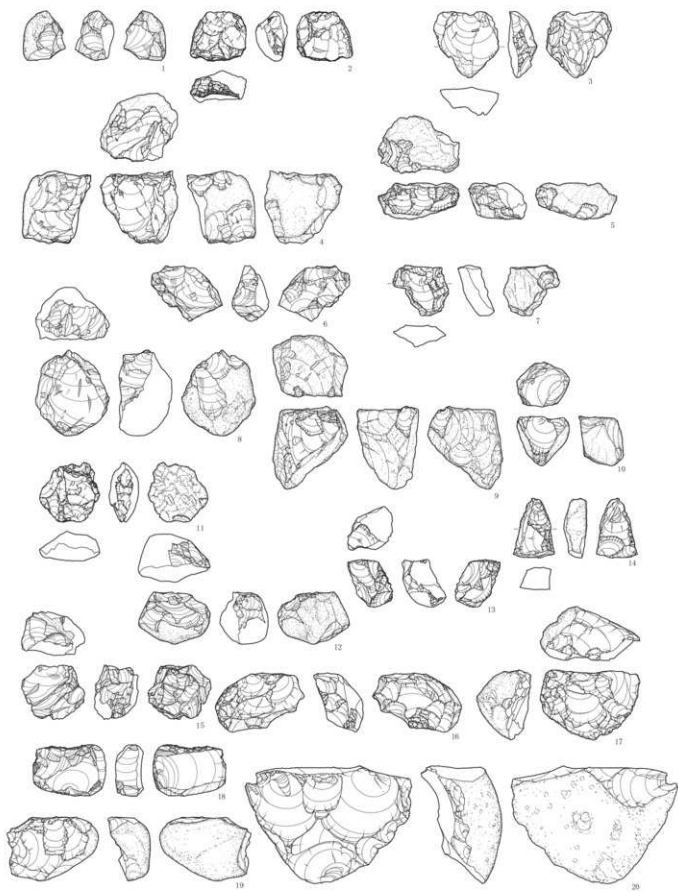


※アミアセはアスファルト

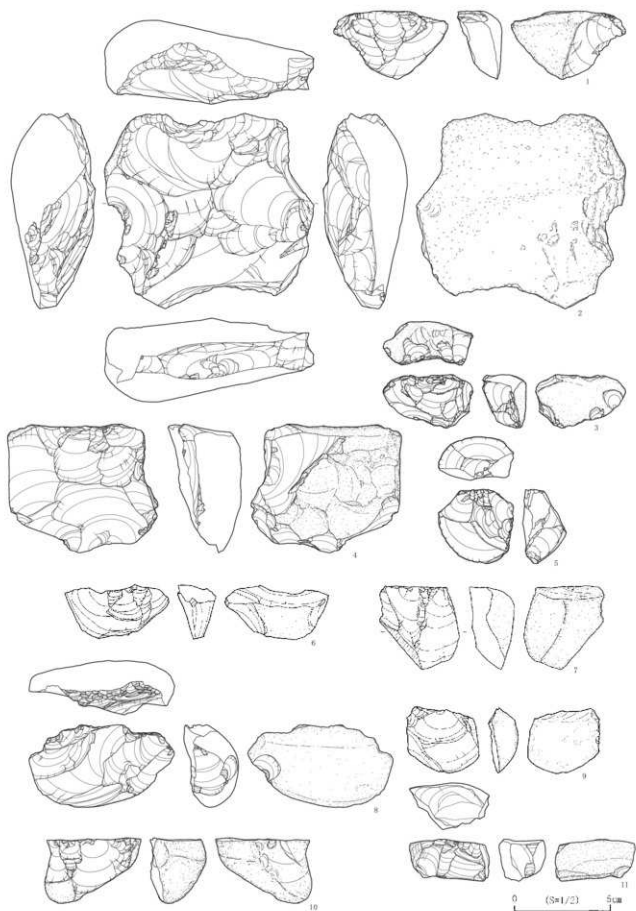
遺物図149 石器(31) 異形石器



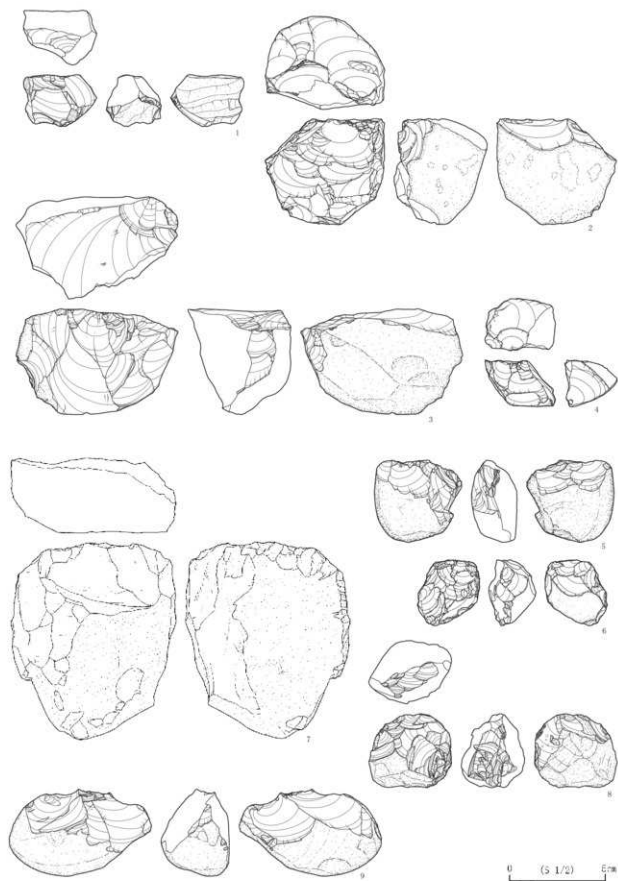
遺物図150 石器(32) 微細剥片



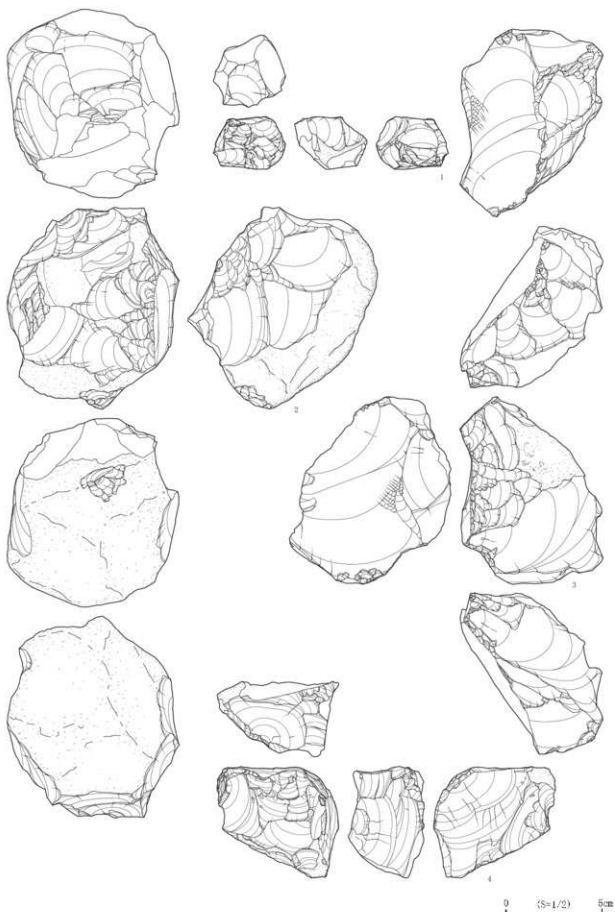
遺物図151 石器(33) 石核-1



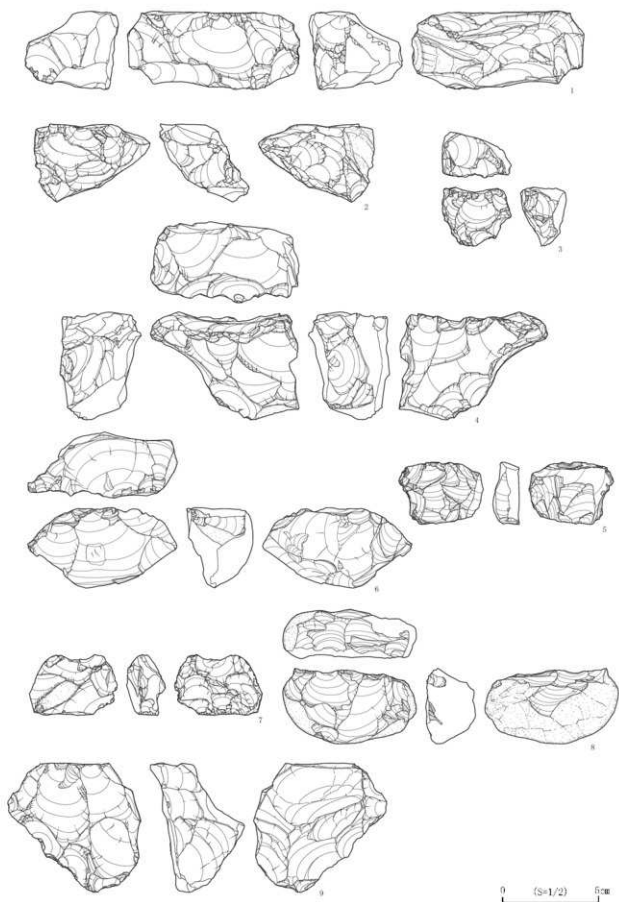
遺物図152 石器(34) 石核-2



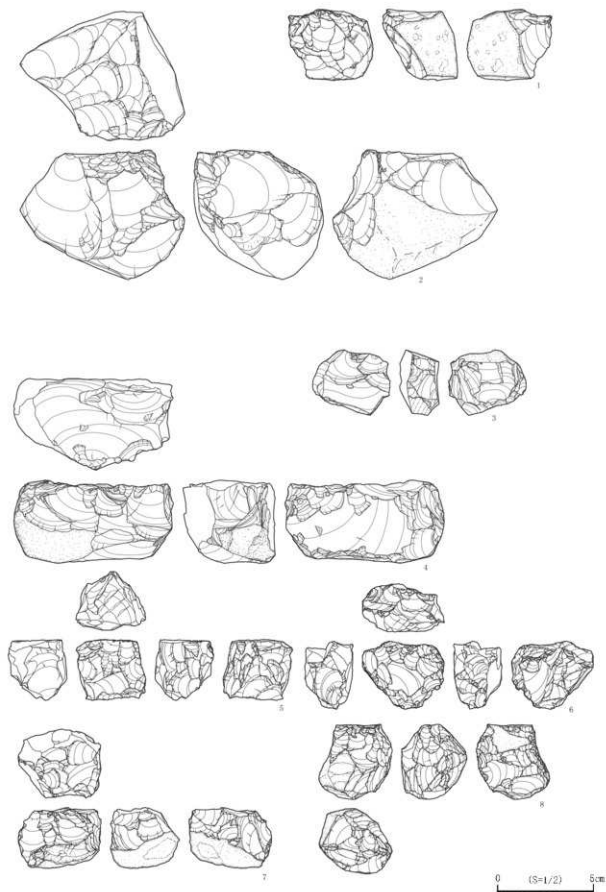
遺物図153 石器(35) 石核-3



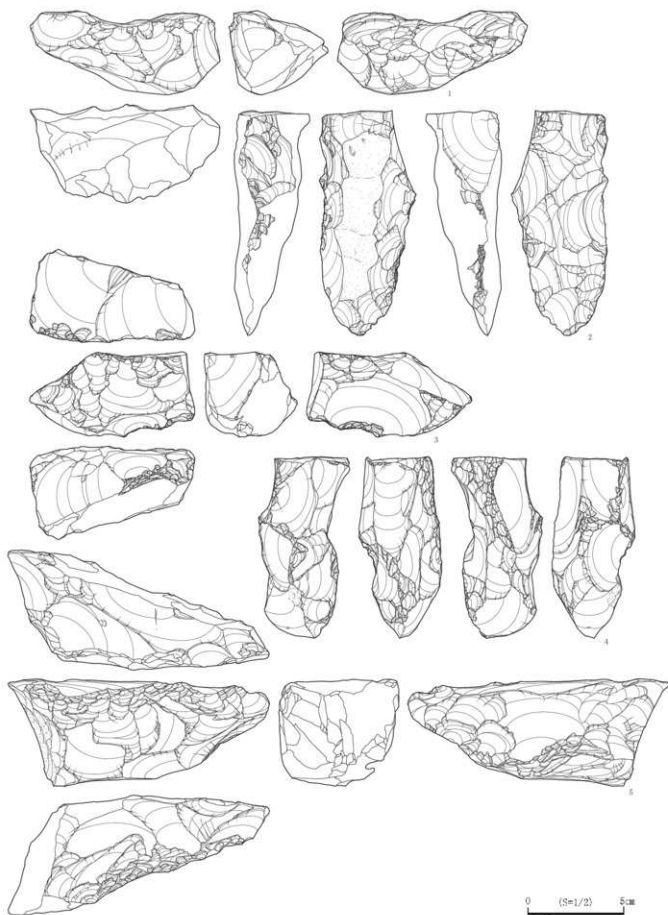
遺物図154 石器(36) 石核-4



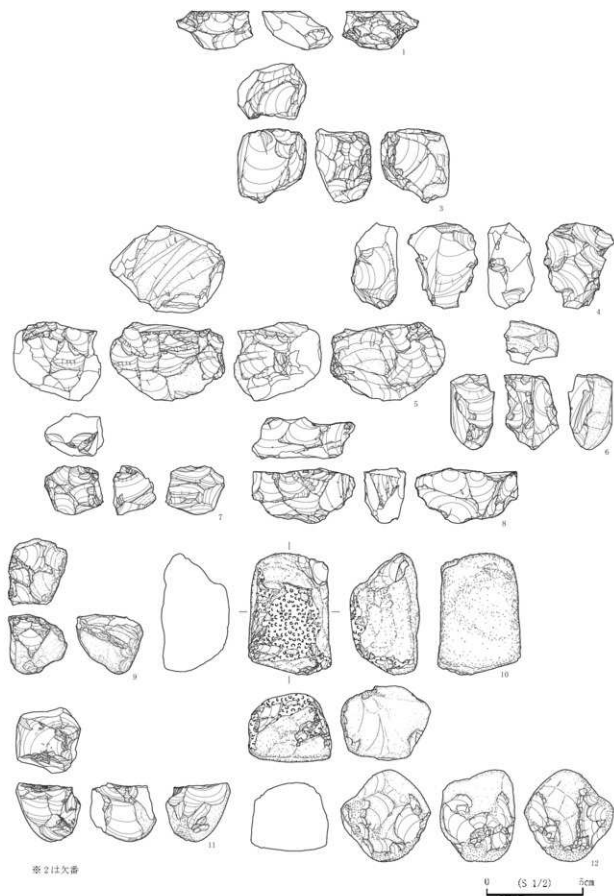
遺物図155 石器(37) 石核-5



遺物図156 石器(38) 石核-6

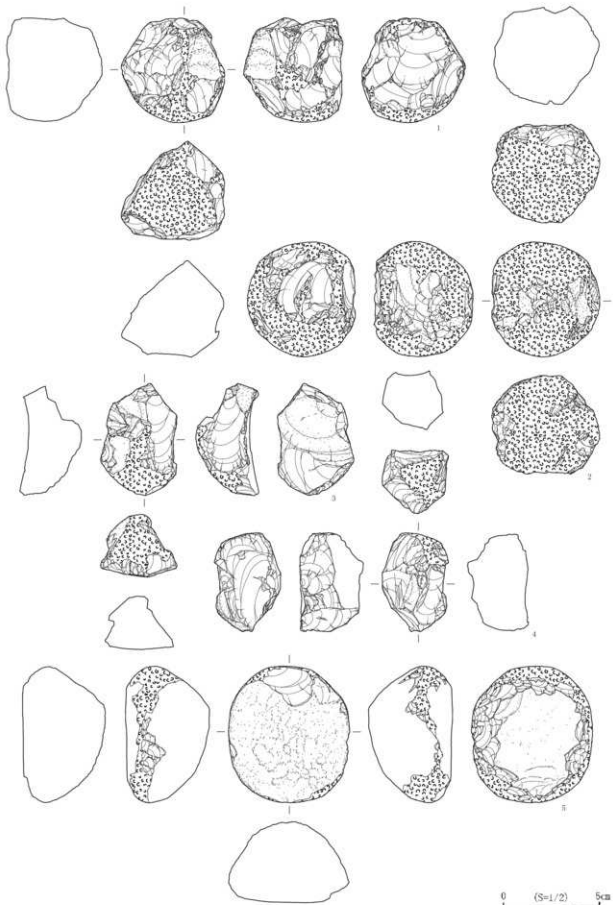


遺物図157 石器(39) 石核-7

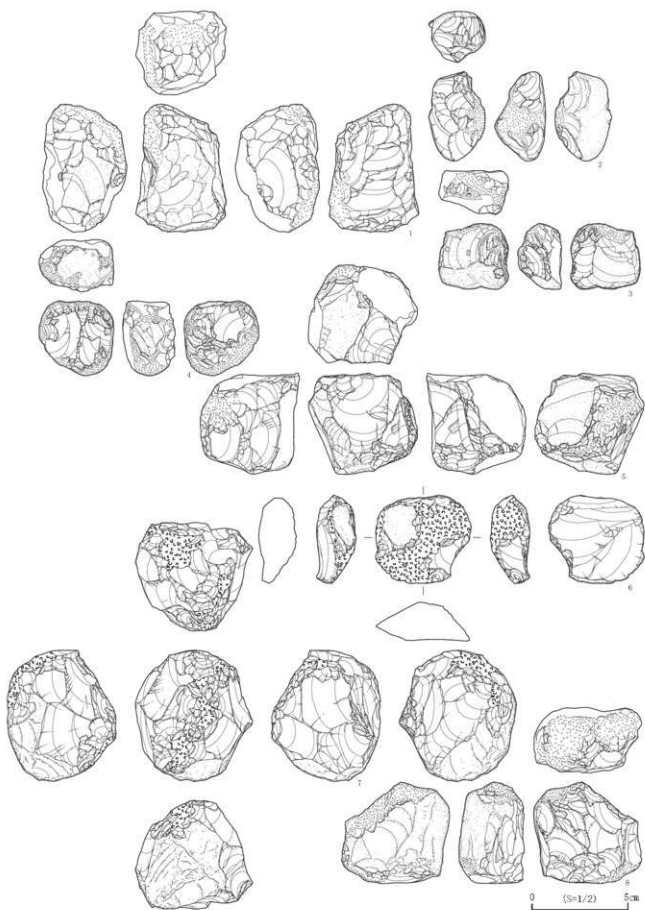


※ 2は欠番

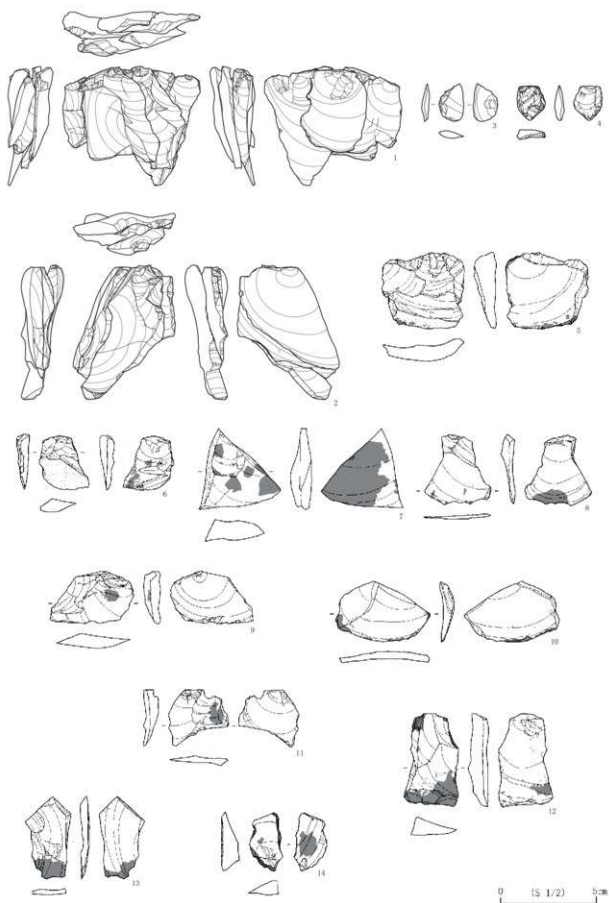
遺物図158 石器(40) 石核-8



遺物図159 石器(41) 石核-9

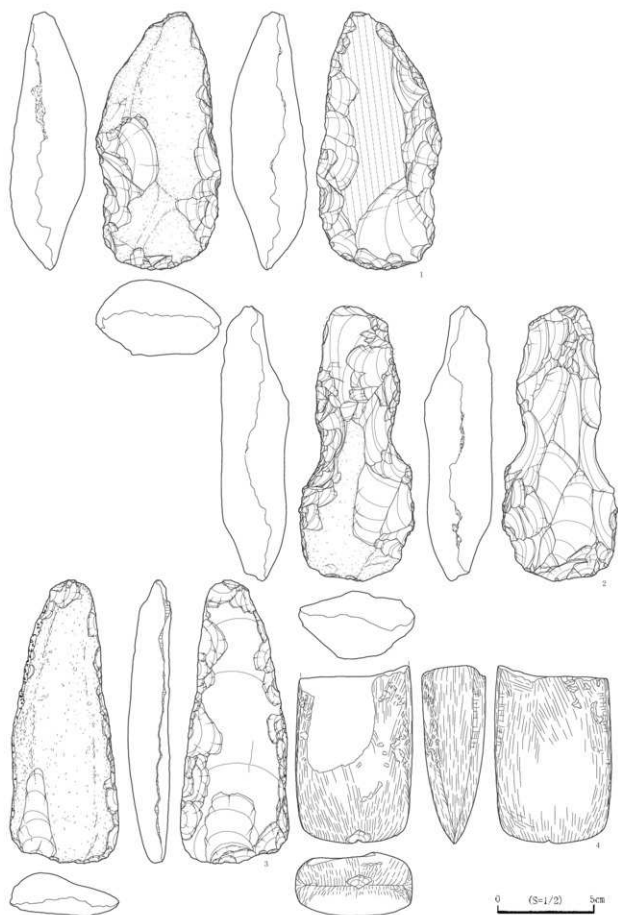


遺物図160 石器(42) 石核-10

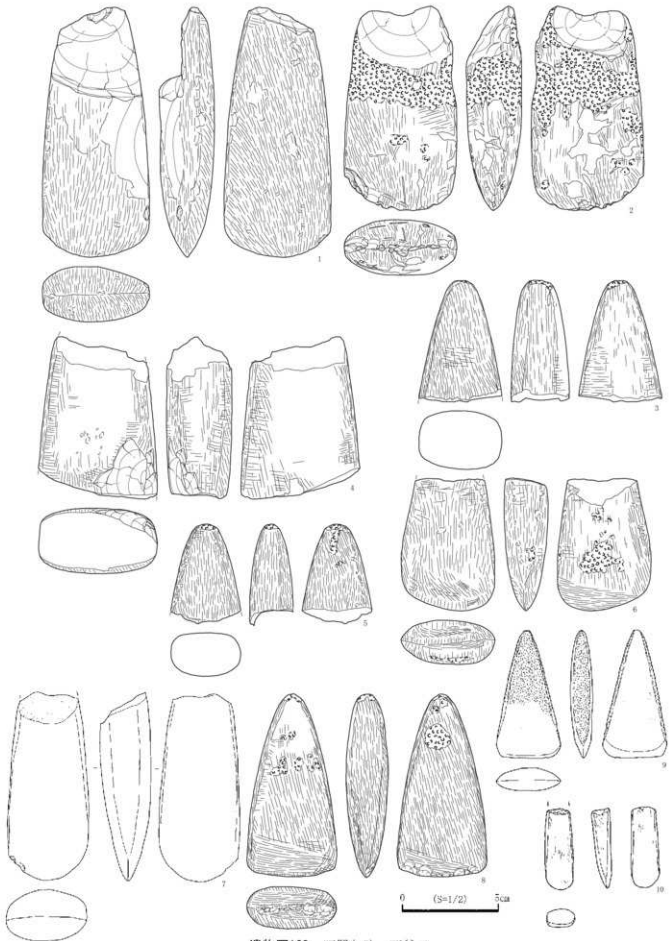


※アマモセはアスファルト

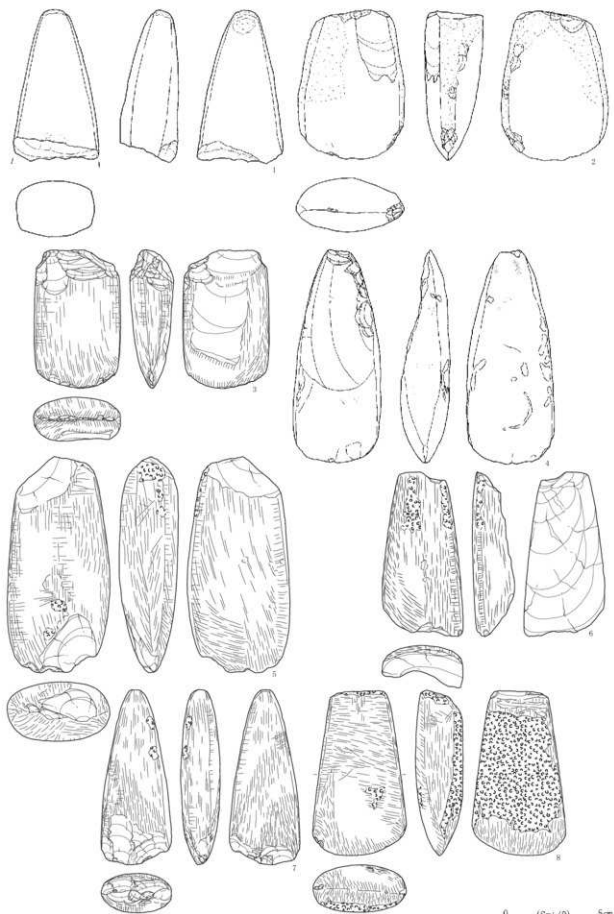
遺物図161 石器(43) 接合資料・剥片



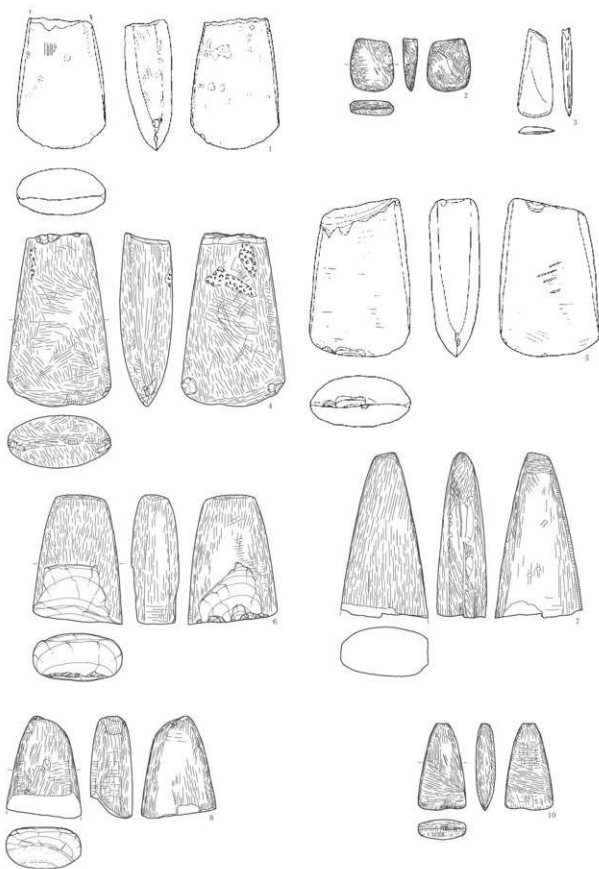
遺物図162 石器(44) 石斧-1



遺物図163 石器(45) 石斧-2



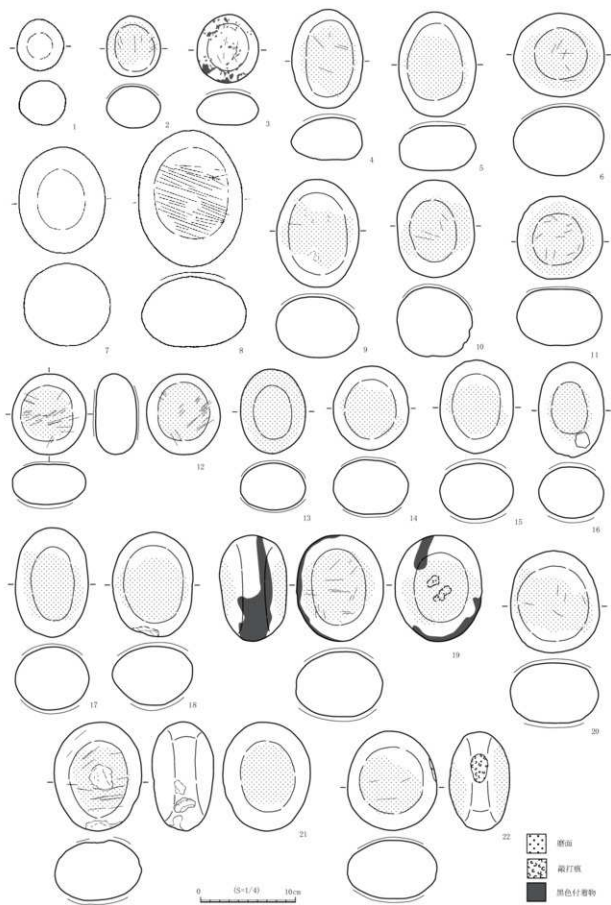
遺物図164 石器(46) 石斧-3



※9は欠番

0 (S=1/2) 5cm

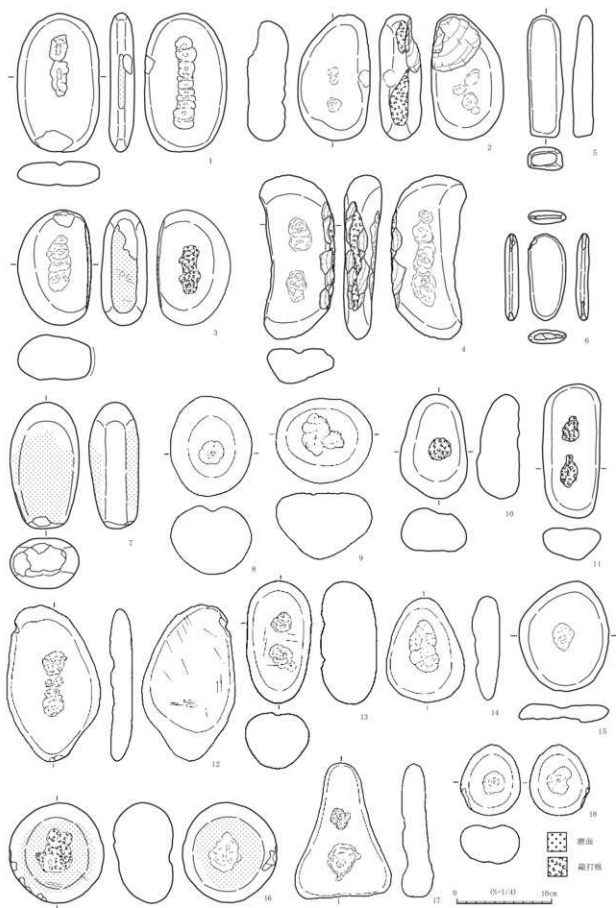
遺物図165 石器(47) 石斧-4



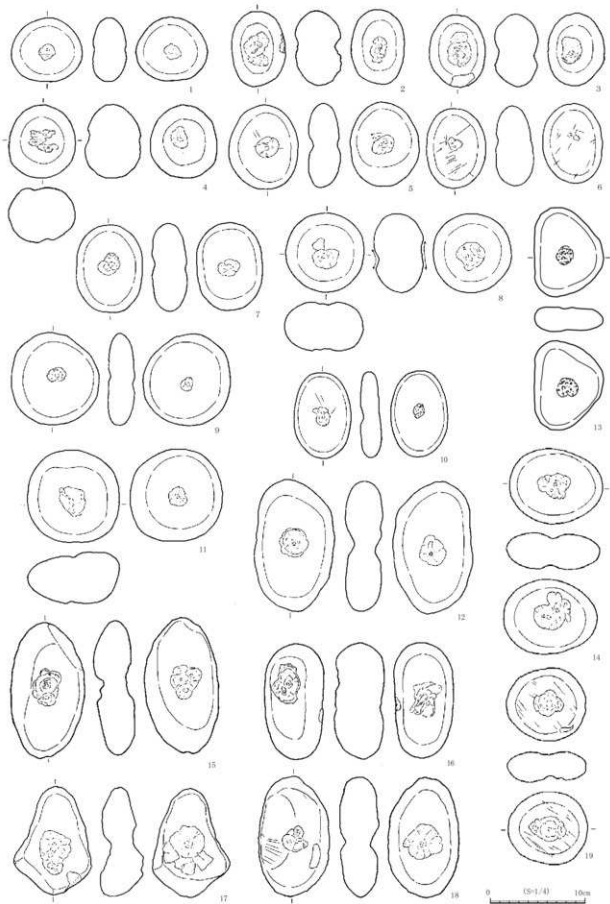
遺物圖166 石器(48) 磨石-1



遺物圖167 石器(49) 磨石-2



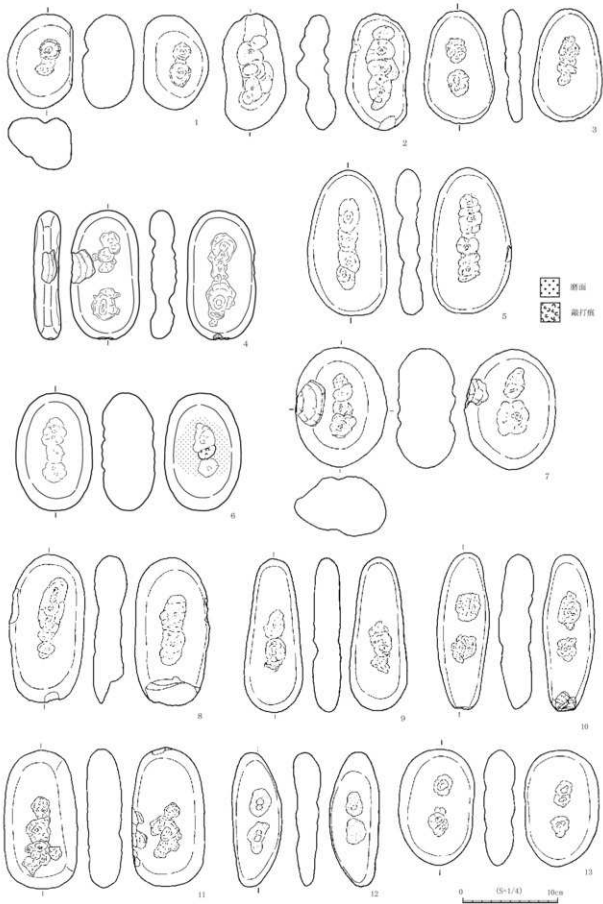
遺物図168 石器(50) 磨石-3・凹石-1



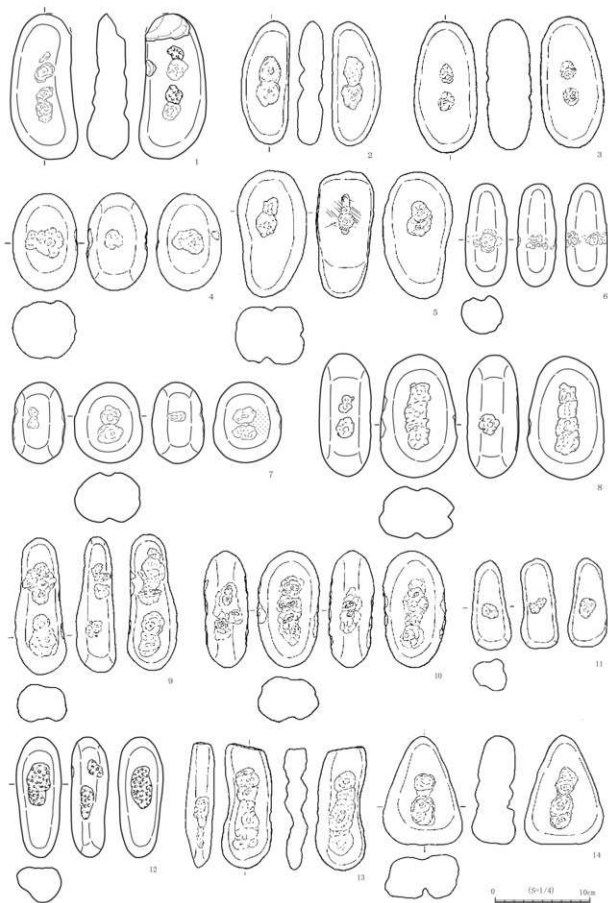
遺物圖169 石器(51) 凹石-2



遺物圖170 石器(52) 凹石-3



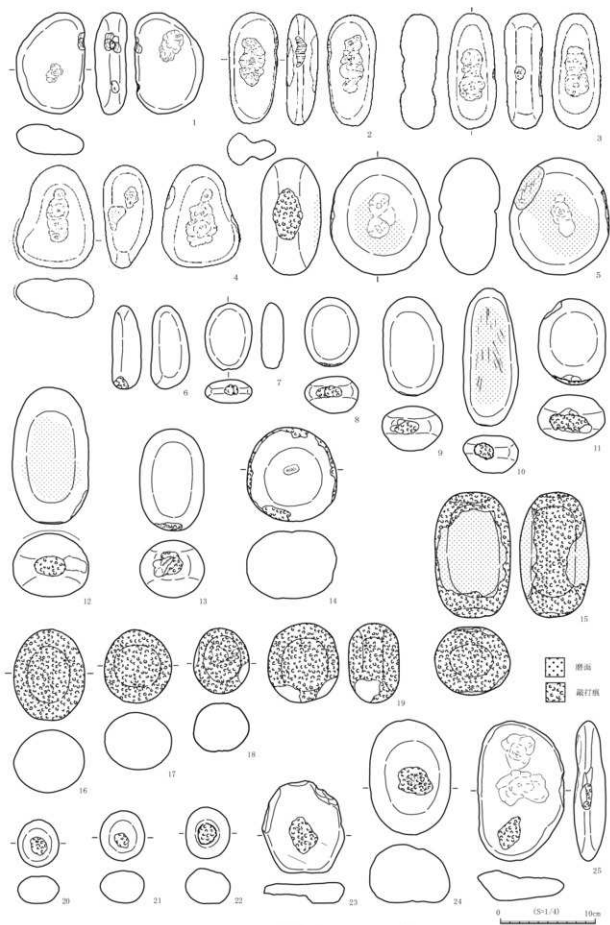
遺物圖171 石器(53) 凹石-4



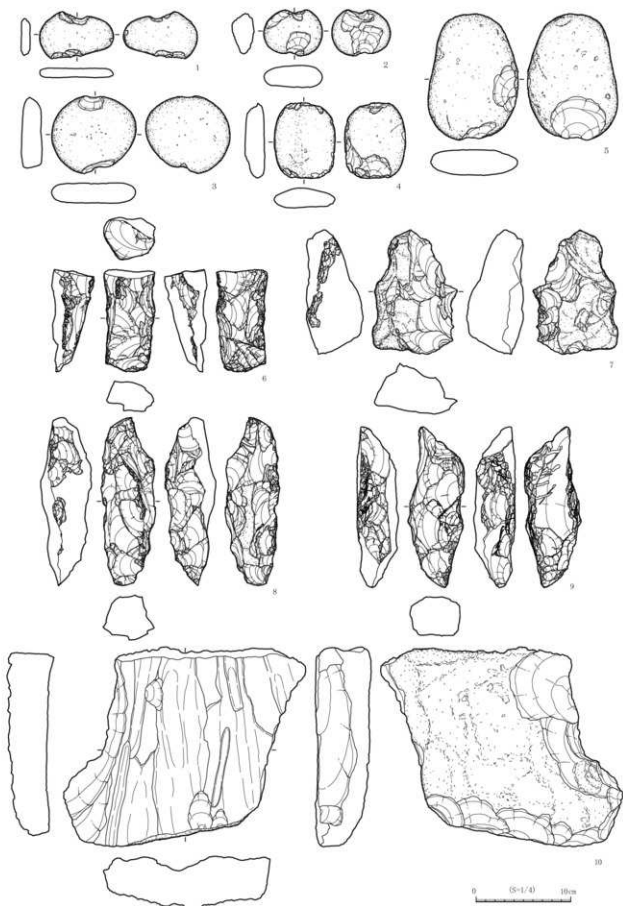
遺物圖172 石器(54) 凹石-5



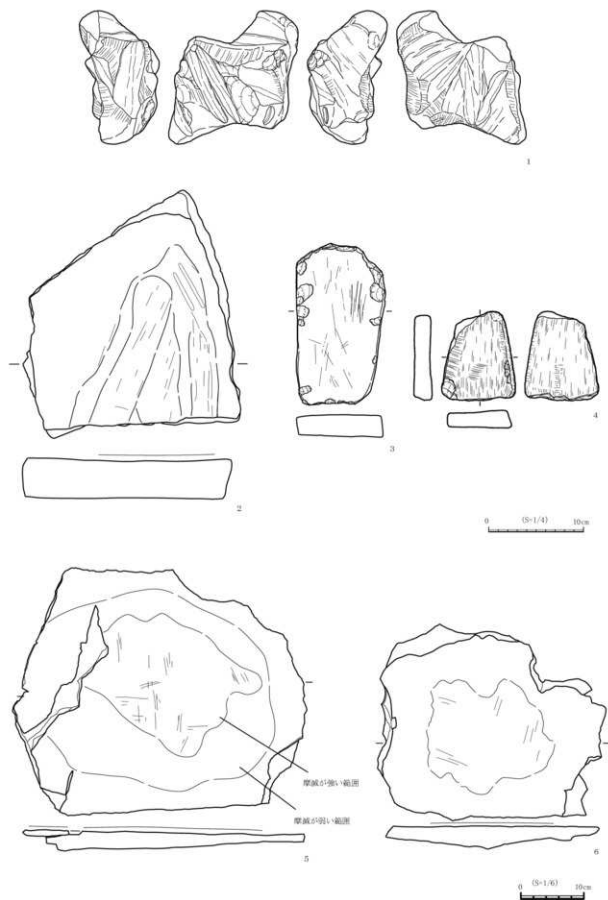
遺物圖173 石器(55) 凹石-6



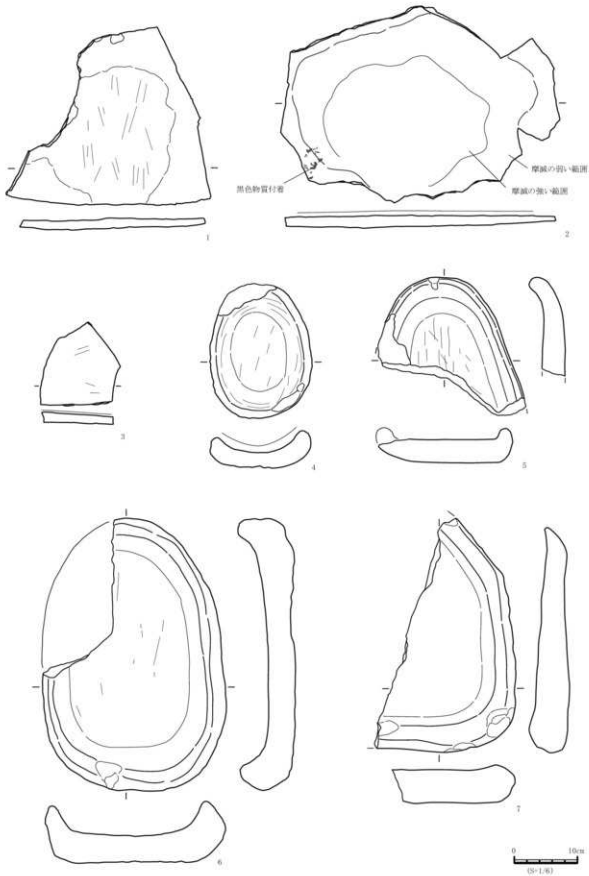
遺物圖174 石器(56) 凹石-7・蔽石



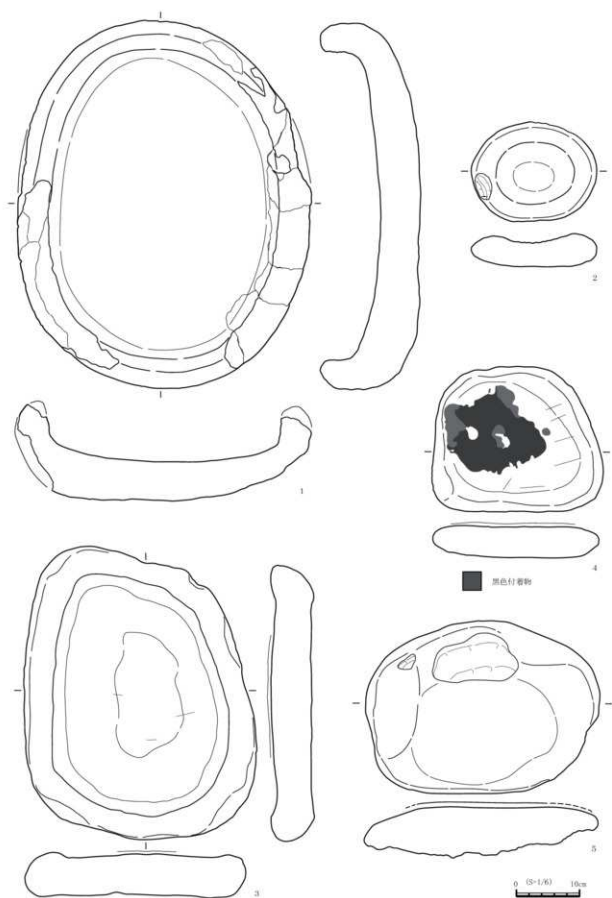
遺物図175 石器(57) 石錘・礫器・砥石-1



遺物図176 石器(58) 砥石-2・石皿-1



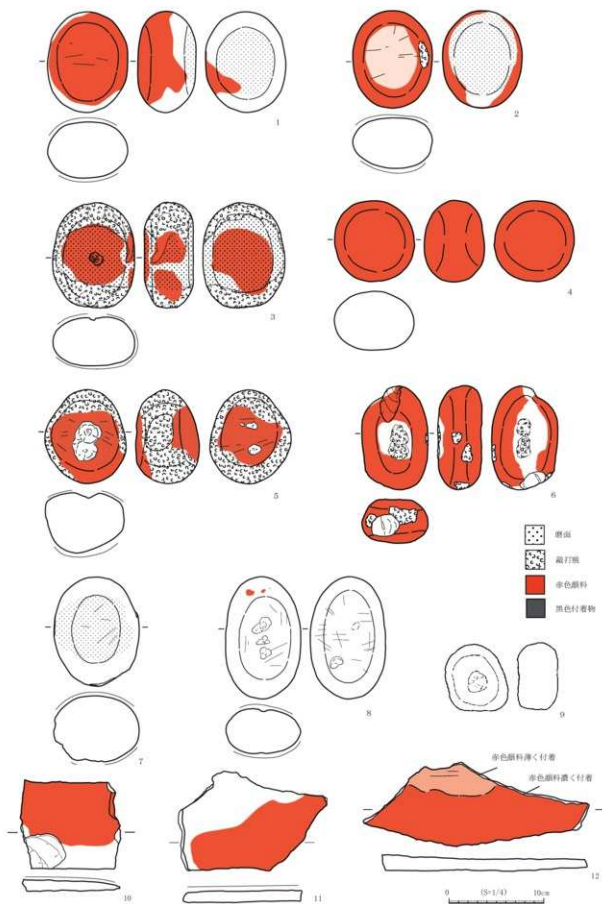
遺物図177 石器(59) 石皿-2



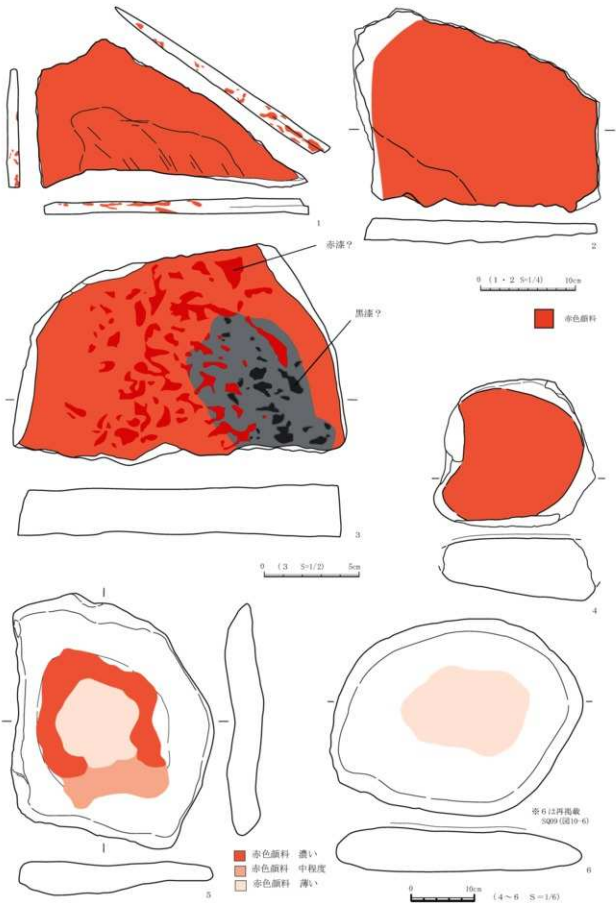
遺物圖178 石器(60) 石皿-3



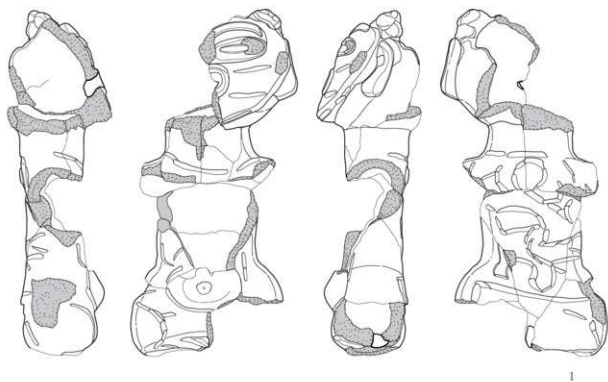
遺物圖179 石器(61) 石皿-4



遺物図180 石器(62) 赤色顔料が付着している石器-1



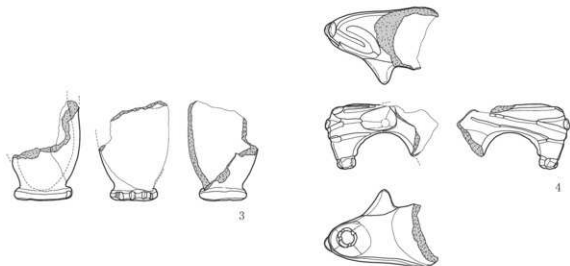
遺物図181 石器(63) 赤色顔料が付着している石器-2



1



2

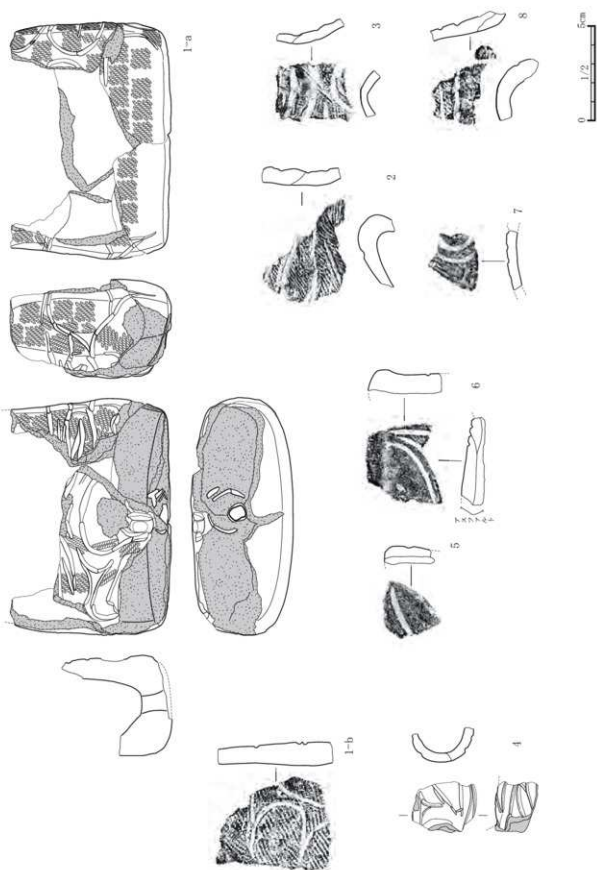


3

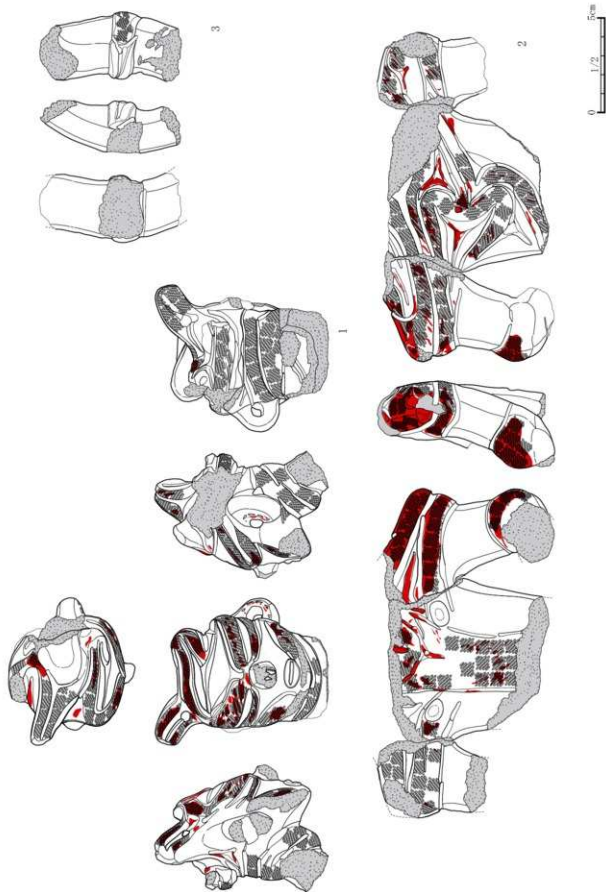
4



遺物図183 土製品(2) 土偶-2



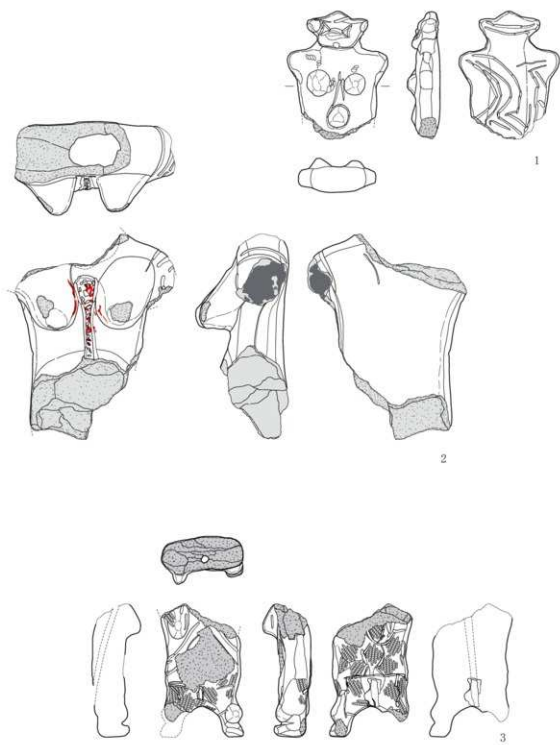
遺物図184 土製品(3) 土偶-3



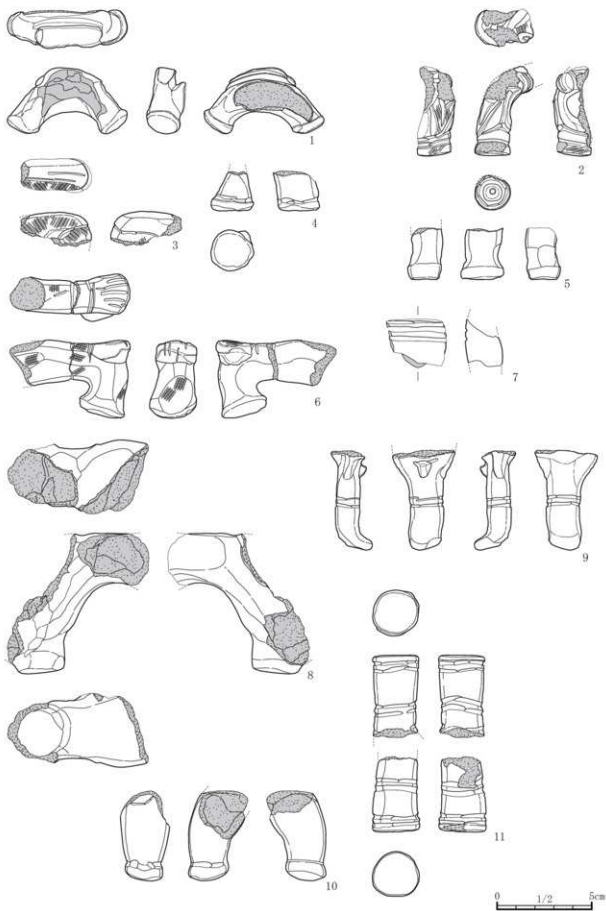
遺物図185 土製品(4) 土偶-4



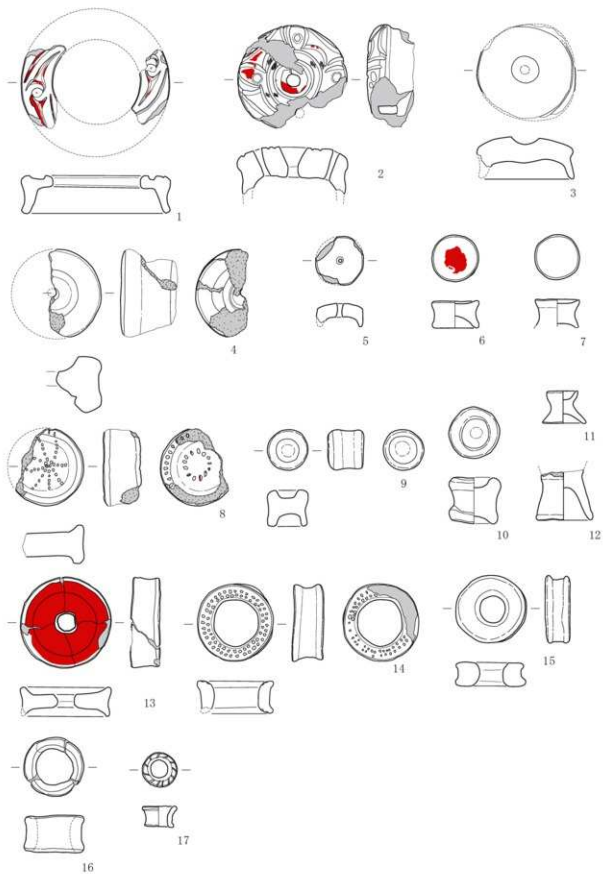
遺物図186 土製品(5) 土偶-5



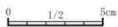
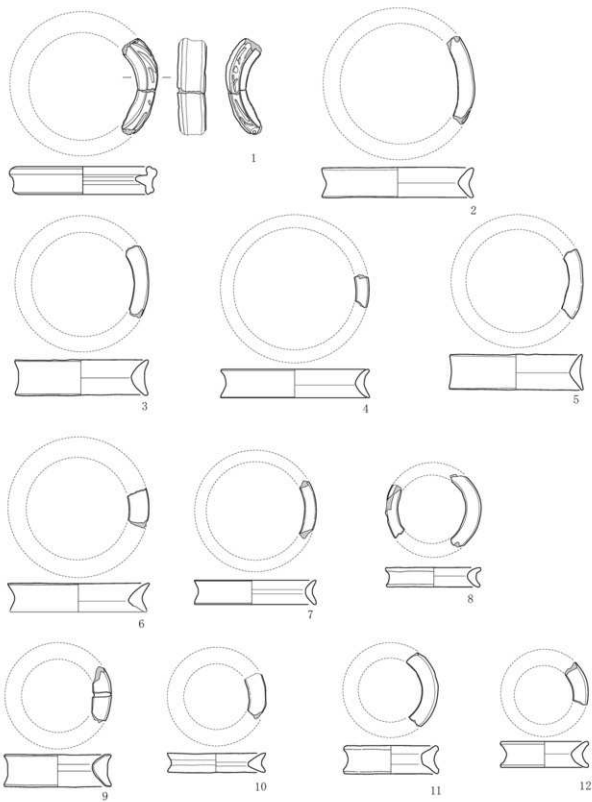
遺物図187 土製品(6) 土偶-6



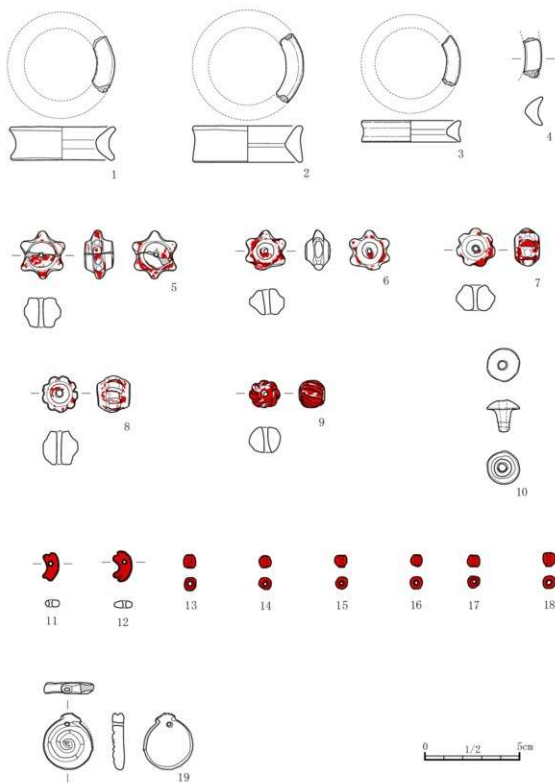
遺物図188 土製品(7) 土偶-7



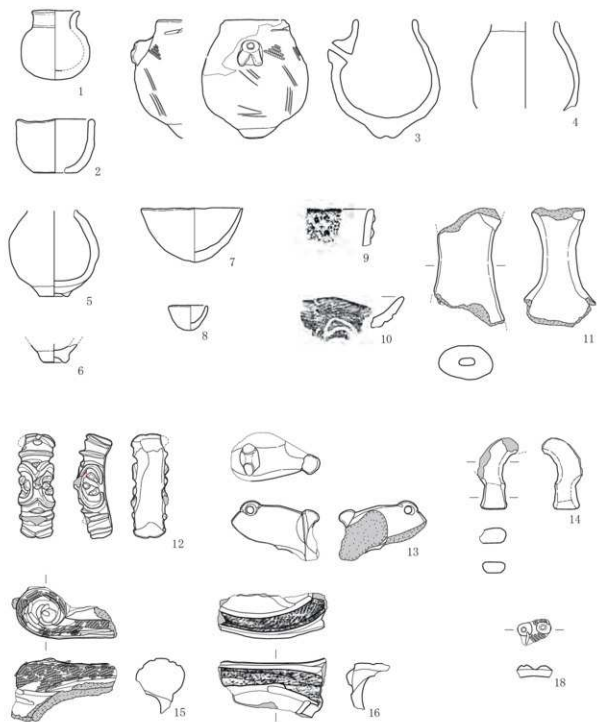
遺物図189 土製品(8) 耳飾-1



遺物図190 土製品(9) 耳飾-2



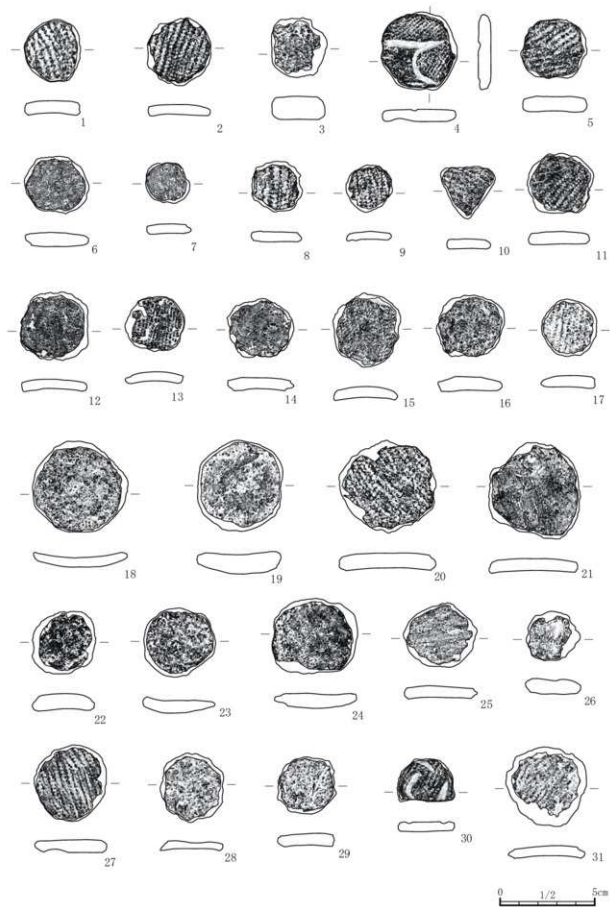
遺物図191 土製品(10) 耳飾-3・土玉・垂飾品



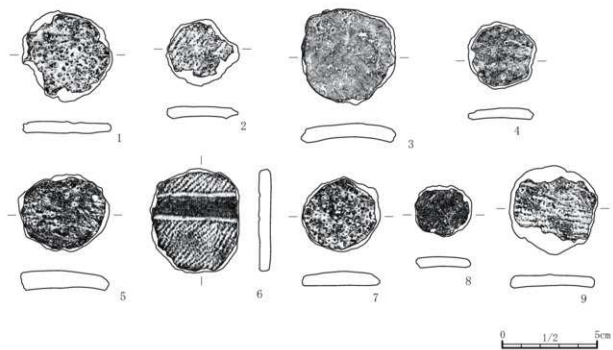
※17は欠番



遺物図192 土製品(11) ミニチュア土器・その他



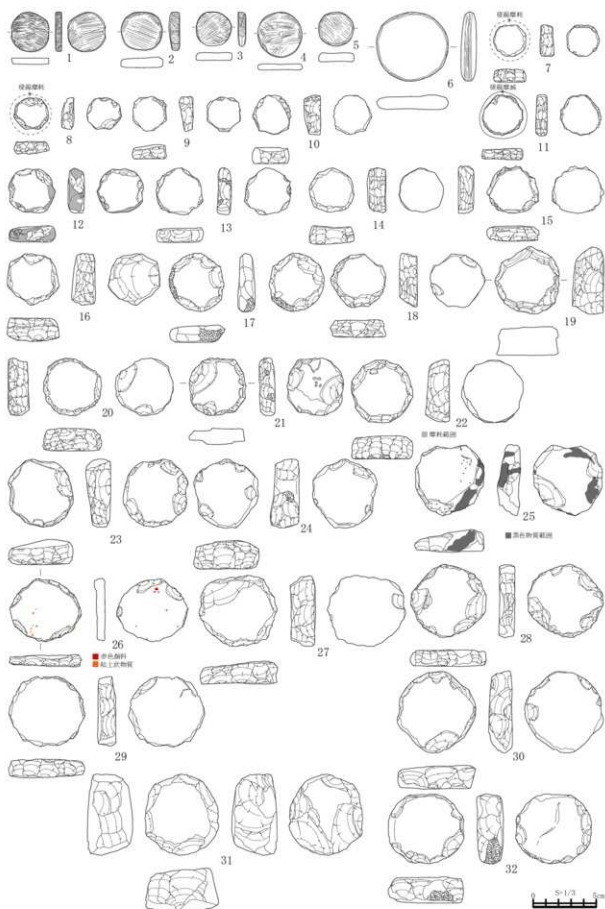
遺物図193 土製品(12) 土製円盤-1



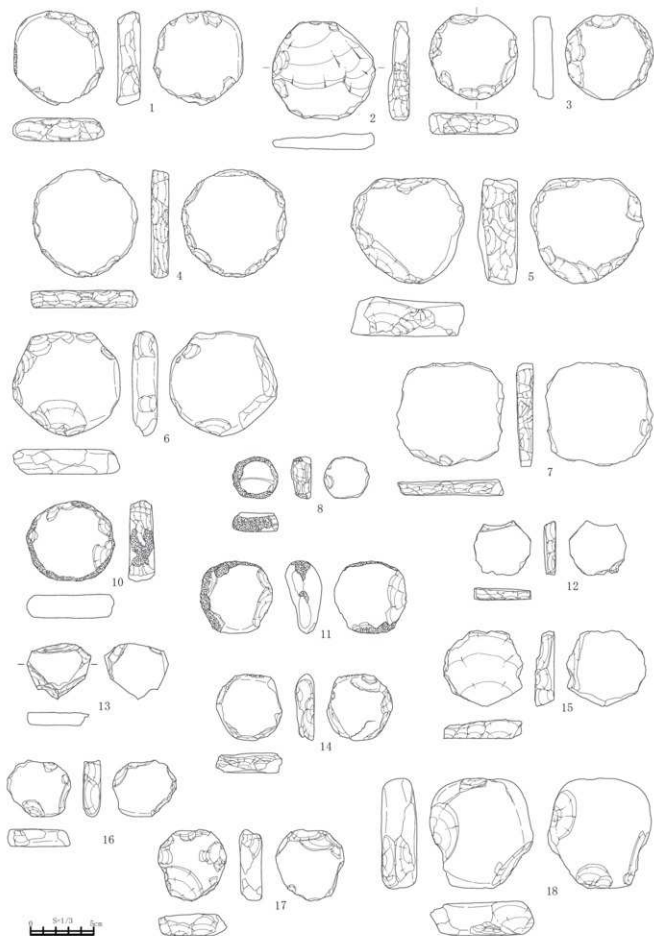
遺物図194 土製品(13) 土製円盤-2



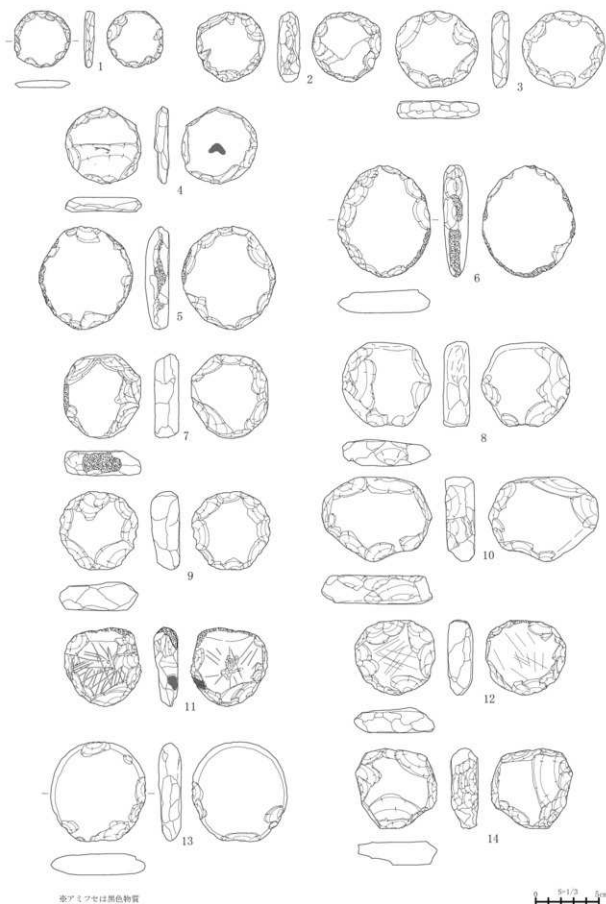
遺物図195 石製品(1) 岩版類・有孔石製品



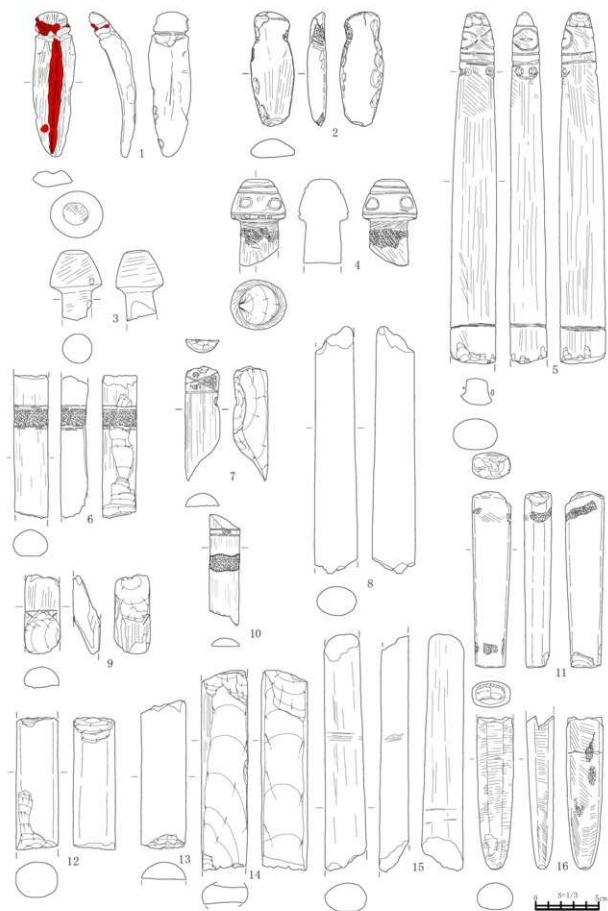
遺物図196 石製品(2) 円盤状石製品-1



遺物図197 石製品(3) 円盤状石製品-2 (9は欠番)



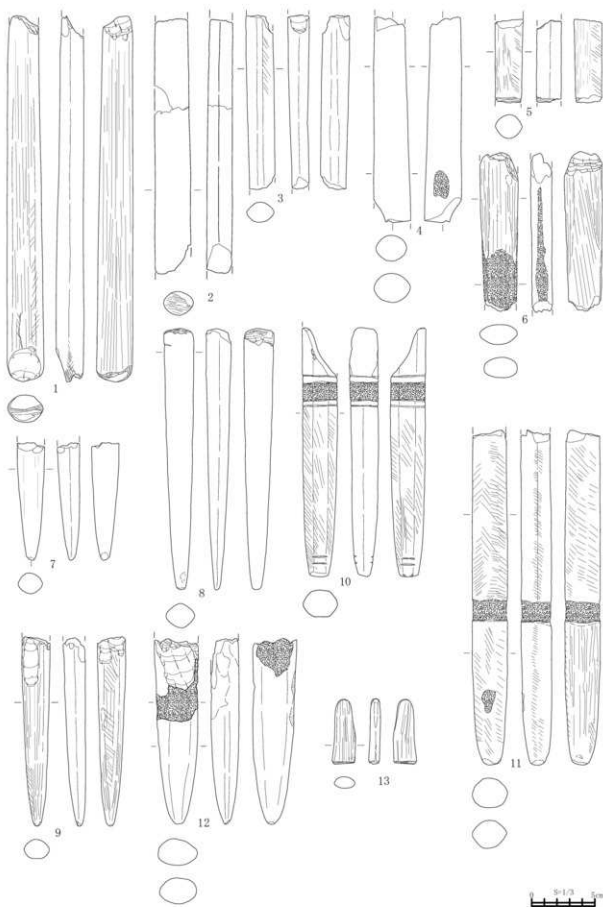
遺物図198 石製品(4) 円盤状石製品-3



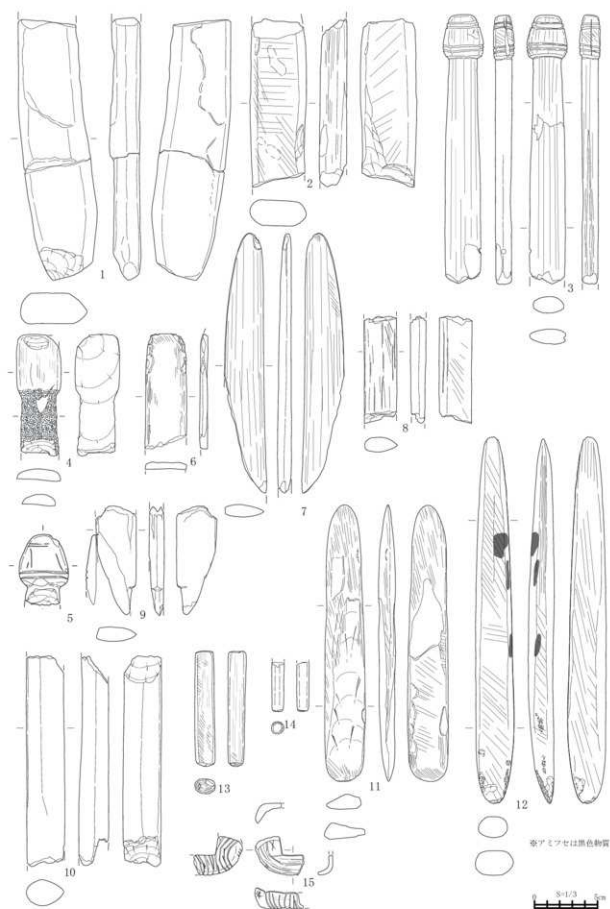
遺物図199 石製品(5) 石棒・石劍・石刀類-1



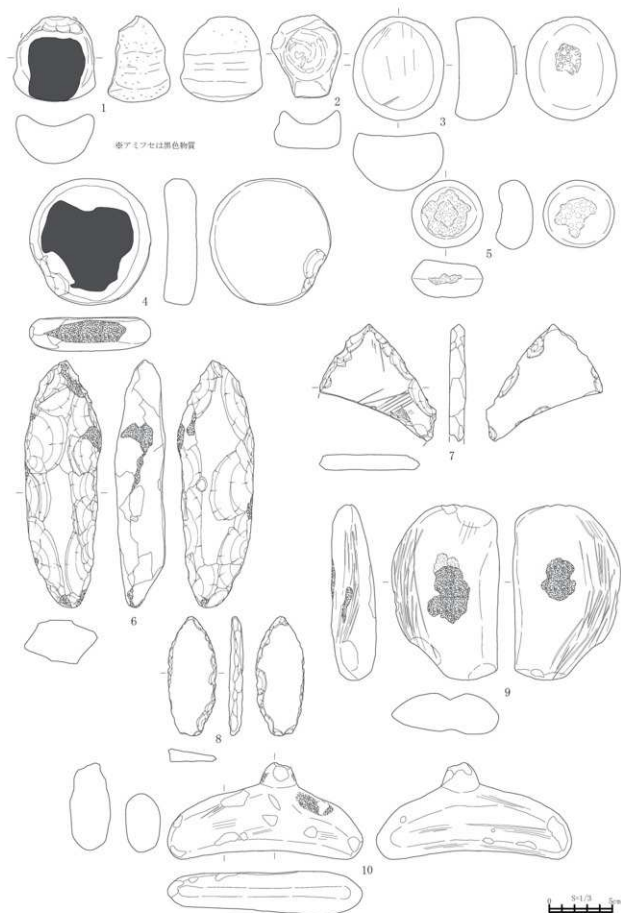
遺物図200 石製品(6) 石棒・石剣・石刀類-2



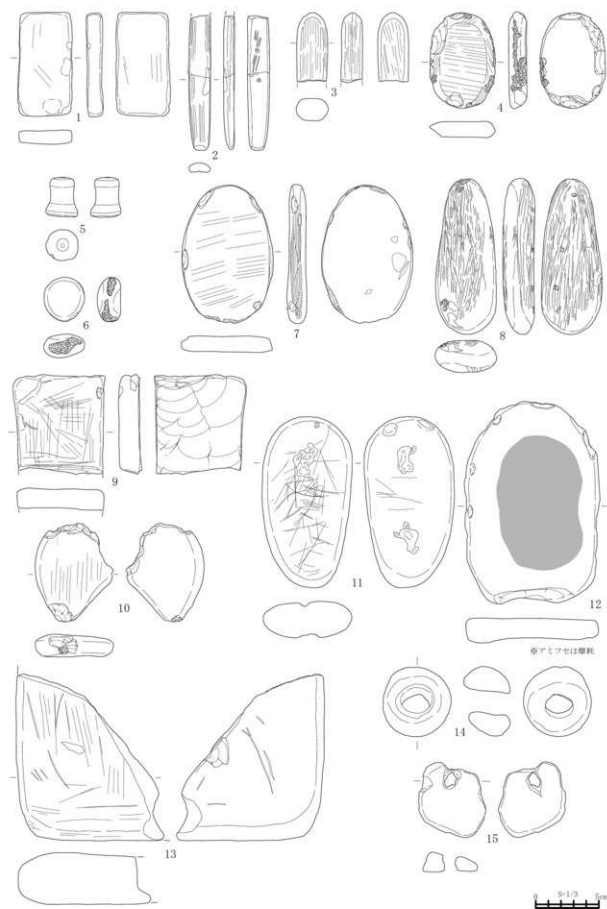
遺物図201 石製品(7) 石棒・石劍・石刀類-3



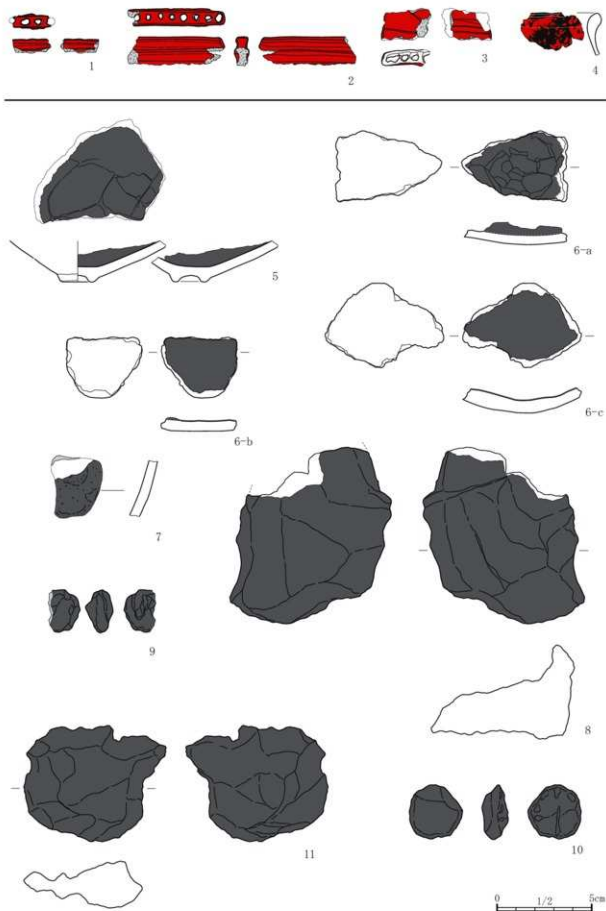
遺物図202 石製品(8) 石棒・石剣・石刀類・棒状石製品・石製模倣品-1



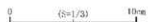
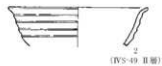
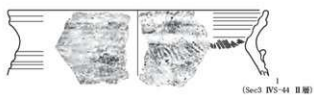
遺物図203 石製品(9) 石製模倣品-2



遺物図204 石製品(10) 擦痕の見られる石製品・自然礫利用石製品



遺物図205 漆製品・アスファルト関連遺物



遺物図206 弥生土器・土師器

報告書抄録

ふりがな	かわらたい (い) せき に						
書名	川原平 (I) 遺跡 II						
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告						
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第564集						
編著者	岡本洋 笹森一朗 齋藤岳 木村高 高山昇 高橋哲 茅野嘉雄 岩井美香子 佐々木雅裕						
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター						
所在地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702						
発行機関	青森県教育委員会						
発行年月日	西暦 2016年 3月 25日						
所収遺跡名	所在地	コード		世界遺産系 (JG2000)	調査期間	調査面積	調査原因
川原平 (I) 遺跡	青森県津軽郡西目屋村大字川原平 字福岡地内	市町村	遺跡番号	北緯	東経	4,250㎡ (報告範囲)	記録保存調査
		02343	343009	40° 31' 35"	140° 13' 31"	20110511 20111028 20130507 20131114	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
川原平 (I) 遺跡	集落	縄文	建物跡	6棟	縄文土器 (前期～晩期) 石器	・後期後葉～晩期後葉にかけての大規模な集落跡で、遺物が大量に出土。	
			焼土遺構	42基	土製品	・石棺状配石はいわゆる石棺墓と同じ構造であるが、後期末葉頃に構築されたものである。	
			柱穴 (単軸検出)	225基	石製品		
			土坑	5基	漆製品	・壺付土器後半 (青森県史による後期7-4期) ～晩期初期 (晩期1a期) の土器がまとまって出土している。	
			石棺状配石 (石棺伴出)	3基	アスファルト	・人面付土器が複数個体出土している。	
			配石遺構	15基	焼成粘土 紙物 (マンソン・ジョール)		
	土器埋設遺構	30基	赤色顔料漆器				
散布地	弥生 (?)	なし	弥生土器 (?)	・田舎船式並行 (?) の破片 1点			
散布地	平安	なし	土師器	・坪の破片 1点			
散布地	近世以降	なし	陶磁器・土器・銭貨				
要約	<p>川原平 (I) 遺跡は西目屋村役場から南西約 9 km に位置し、岩木川右岸の岡成段丘上に立地する。</p> <p>本報告は川原平 (I) 遺跡に関する 2 冊目の報告書である。今回の報告範囲は、2011年度本調査範囲全てと、2013年度本調査範囲の一部である。また、2年連続の本調査範囲には、青森県埋蔵文化財調査報告書第409集として刊行された2003年度本調査範囲も含まれており、当時確認されたままで未精査だった遺構も2013年度に精査が終了し、今回の報告となっている。</p> <p>本報告の対象となった出土遺物は、段ボール箱にして土器・土製品が724箱、石器・石製品が404箱、漆製品が3箱の合計 1,131箱である。遺物のほとんどは縄文時代後期後葉～晩期後葉に属する。</p> <p>本遺跡から検出された縄文時代の集落は後期後葉 (青森県史による後期7-4期) ～晩期後葉 (晩期5期) にかけて継続して営まれており、津軽ダム建設予定地内における該期の拠点的な集落と考えられる。今回の報告範囲は遺物出土量に対して建物跡の検出数が少なく、居住域に隣接した「捨て場」であると考えられ、居住域の主体は今回報告範囲の北側に広がる。捨て場に重なるように焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構が検出されている。土器埋設遺構の検出数は、これまで調査された青森県内の晩期遺跡では最多である。また、いわゆる石棺墓と類似した遺構が3基検出され、これらの構築時期が後期末葉頃と確定したのが特筆される成果である。石棺墓は青森県内で多数検出されているが、構築時期は中期末葉～後期前葉であり本遺跡とは時期が異なる。また、該期の石棺墓は改善を前提とした一次葬施設と考えられているのに対し、本遺跡の石棺墓類似遺構は内部が埋め戻されている点で異なり、人骨も出土しないため墓と断定することができず、石棺状配石として報告した。秋田県大船出石船遺跡では晩期の組石棺が報告されており、本遺跡の石棺状配石は秋田県方面との関連も検討する必要がある。</p> <p>大量に出土した後期後葉～晩期後葉の遺物のなかでも、後期7-4期～晩期1a期の土器はこれまで青森県内でまとまって出土することが稀であったため、本遺跡出土資料は今後土器編年の基準としての役割を果たすものと考えられる。該期の土器付着層化物25については放射炭素年代測定を実施しており、晩期開始年代を3000yrBPとする見通しが得られた。人面付土器も複数出土しており、その中には精巧に作られた注口土器も含まれる。</p> <p>なお、川原平 (I) 遺跡の発掘調査は2015年8月に完了し、今後数冊の報告書が刊行される予定である。また、放射炭素年代測定を含め、今回報告範囲に係る自然科学分析の詳細な結果は本書には収録しておらず、今後刊行される報告書にまとめて掲載する予定である。</p>						

青森県埋蔵文化財調査報告書 第564集

川原平(1)遺跡 II

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—
(第2分冊)

発行年月日	2016年3月25日
発行	青森県教育委員会
編集	青森県埋蔵文化財調査センター 〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152番15 TEL (017)788-5701 FAX (017)788-5702
印刷	ワタナベサービス株式会社 〒030-0803 青森県青森市安方二丁目17-3 TEL (017)777-1388 FAX (017)735-5982
